

友史会 2024 年 4 月例会

「百済王氏（くだらのこにきし）と古代枚方（交野）」

- ・令和 6 年 4 月 21 日 午前 10 時 京阪交野線宮之阪駅集合
- ・案内 木村 理恵（学芸課主任研究員）
- ・コース 宮之阪駅→百済寺跡・百済王神社→禁野本町遺跡公園→アゼクラ遺跡(横穴墓)
→栗倉瓦窯跡→牧野車塚古墳→輝きプラザきらら 2 階展示室
→九頭神麿寺史跡公園→牧野阪瓦窯（牧野公園）→京阪本線牧野駅

【例会だより】

京阪枚方市駅で交野線に乗換え宮之阪駅で集合。ここ枚方は私の高校生活三年間を過ごした所で特に宮之阪駅（当時は中宮駅）は最寄り駅だった。数十年を経た町は隔世の感がある。

今日の天気予報には傘マークがあり心配していたが、あいにく出だしから降雨となる。

百済王神社境内で木村先生の説明を拝聴しスタート。今回は従来の例会（古代がテーマ）と違い平安時代初期の百済王氏ゆかりの地を巡る行程である。百済王氏は 643 年王子豊璋と弟の禪広が倭国に遣わされたのがはじめである。天智天皇の白村江の戦いで日本百済連合は壊滅的な敗北で豊璋は百済から高句麗へ逃亡した。禪広が摂津国の難波に定住したと考えられ、曾孫の敬福以後上級官人を輩出し桓武天皇は帰化人を重用したと説明を頂いた。

特別史跡百済寺跡は枚方市により史跡公園として再整備されている。伽藍のイメージが分かりやすく、築地塀復元や金堂基壇・塔跡が整備されている。二塔一金堂式の伽藍配置は薬師寺・大安寺・東大寺と似ていると説明をして頂いた。

禁野本町遺跡は住宅内にあり、百済寺伽藍の中軸線に続く南北道路・東西道路が検出された。平安時代初期には建物が多く立ち並んだ様子がうかがわれる。遺構は地面に分かりやすく柱を残し公園とし保存している。出土遺物は土師器・須恵器が多くまた、奈良三彩瓶（輝きプラザきらら館展示室に展示）が出土、正倉院にも似たような瓶が伝わり当時の高級な品物が多く出土している。

栗倉瓦窯跡は発掘調査により平窯二基が発見されている。遺構は住宅街の中の小高い公園にあり埋戻し保存されている。

牧野車塚古墳は古墳時代前期中頃（4 世紀後半）全長 107.5m の前方後円墳で外堤も有ったことが調査で分かった。雨が本降り状態となり残念なことに全員では墳丘に入ることができなかった。

輝きプラザきらら館展示室を拝観、「よみがえる百済寺ー復元築地塀完成記念ー」の開催があり百済寺に纏わる遺物が多く展示され中でも蓮華文軒丸瓦・鬼瓦・奈良三彩瓶・鷗尾また、大型多尊埴仏も展示されていた。埴仏は名張市の夏見廃寺展示館で拝観し、壁に貼って再現されて綺麗だったことを思い出す。他に川原寺裏山遺跡からも出土している。博物館には、二光寺廃寺出土品が展示

されている。

アゼクラ遺跡（横穴墓）は道路整備事業に伴い発掘調査され、7世紀後半の横穴墓が数基発見された。現在は工事中の為遺構見学する事は出来なかった。昨年吉村先生の御案内で八幡市南部から京田辺市北部の丘陵に有る横穴墓を巡ったことを思い出した。横穴墓の分布エリアが北河内まで広がっていることが分かった。

九頭神廃寺では北面の大垣の一部の再建と宝幢遺構が再建されていた。

枚方市文化財課の歴史遺構保存に対する熱心な活動を感じる。

枚方・牧野は七夕伝説・岩船伝説で知られるところで。天野川・船橋川・穂谷川の三川が淀川へ合流する。また、渚院跡・御殿山神社など歴史を想起させる地名や遺物があり枚方は歴史の地であったことを改めて知りました。

貴重なご説明を拝聴し、楽しく有意義な一日となりました。木村先生ありがとうございました。

大阪市 松本 和英

【記録写真】

百済王神社 手前中央が木村先生



百濟寺跡



百濟寺金堂跡



百濟寺回廊



禁野本町遺跡



方形街区 禁野本町



南北道路遺跡 禁野本町



アゼクラ遺跡



牧野車塚古墳



輝きプラザきらら館 展示室



蓮華紋軒丸瓦 百濟寺跡出土



九頭神麿寺史跡公園



片莖神社



以上